

平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 池田市上下水道部	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 経営企画課 森 数樹
代表者氏名 池田市上下水道事業管理者 長尾 伊織	TEL:072-752-1111 FAX:072-751-3852 E-mail:s-keiei@city.ikeda.osaka.jp

部門名 行政部門	事例名 マンホール蓋を活用した多角的な広報活動 ～マンホールが繋ぐ人とまち～
-------------	--

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

昨今「下水道のマンホール蓋を活用した広報活動」が注目されており、池田市においても平成29年度にマンホールカードの発行を行ったほか、マンホール蓋にプリントシールを貼付けたものである【プリントマンホール】を活用した広報活動を精力的に展開している。

本市では平成29年9月に、池田警察署との共同で、**全国初・池田発「下水道用マンホール蓋を活用した振り込め詐欺防止PR」**を実施し、金融機関の周辺にプリントマンホールを10基設置した。その様子はメディアでも大々的に取り上げられたところである。

続いて平成30年4月に、**ウォンバット**で有名な「**五月山動物園**」をPRするプリントマンホールを8基設置した。今回設置したマンホール蓋の絵柄は全て異なっており、動物園までの行き方や残りの距離を、進行方向を示す矢印とともに教えてくれる。今までは観光地までただ歩くだけだったのが、楽しみながら向かうことを提案している。

今後とも本市では、人とまちを「マンホールが繋ぐ」ことを目指し、プリントマンホールを活用した広報活動を継続して実施していく。



振り込め詐欺防止マンホール



マンホールが繋ぐ人とまち



ウォンバットのマンホール

エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

池田市では現在「池田版DMO構想」を掲げており、「行ってみたいまち」「住んでみたいまち」のプロモーションを推進している。その中で本活動は、下水道のみならず、**市政全般を見据えた多角的な視点**からの広報を打ち出しており、まちの活性化の一助を担っていくものであるとともに、足元にある下水道の存在の認知に寄与している。

付属資料の提出	あり・なし（どちらかに○）
---------	---------------